

札幌市がん検診のご案内

札幌市では、市内にお住まいで、職場等でがん検診を受ける機会のない方を対象にがん検診を実施しています。
 ◎各検診データにつきましては、札幌市が行う健康増進事業に活用する場合があります。

種類	対象年齢 ※受診日当日	検査項目	実施場所	自己負担額 (窓口でのお支払)
胃がん検診	満50歳以上で原則※偶数歳の方(2年に1回) ※直前の偶数歳時に札幌市胃がん検診を受診していない奇数歳の方は受診可能です。	胃部エックス線検査 問診	○地区会館等(町内会回覧板等で予約) ○各区保健センター等(予約制) ○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1	1,300円
		胃部エックス線検査(バリウム検査)	○実施医療機関※3	2,200円
		内視鏡検査 問診 内視鏡検査	○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	3,400円 3,500円
大腸がん検診	満40歳以上の方(1年に1回)	問診 便潜血検査(2日法)	○地区会館等(町内会回覧板等で予約) ○各区保健センター等(予約制) ○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	400円
子宮がん検診	満20歳以上で原則※偶数歳の女性(2年に1回) ※直前の偶数歳時に札幌市子宮がん検診を受診していない奇数歳の女性は受診可能です。	①問診・視診・子宮頸部の細胞診・内診 ②子宮体部の細胞診(医師の判断により実施)	○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	① 1,200円 ①+② 1,700円 ① 1,400円 ①+② 2,100円
乳がん検診	満40歳以上で原則※偶数歳の女性(2年に1回) ※直前の偶数歳時に札幌市乳がん検診を受診していない奇数歳の女性は受診可能です。 (満40歳～満49歳の女性はマンモグラフィ検査と併用可能)	問診 乳房エックス線検査(マンモグラフィ検査) {40歳代 2方向撮影 50歳代以上 原則※1方向撮影 ※医師の判断により2方向撮影とする場合もある。	○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	2方向撮影 1,300円 1方向撮影 1,100円 2方向撮影 1,800円 1方向撮影 1,400円
		超音波検査 ※マンモグラフィ検査の受診時に、超音波検査に同意した満40歳～満49歳の女性が対象	○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	800円
肺がん検診	満40歳以上の方(1年に1回)	①問診・胸部エックス線検査 ②喀痰細胞診(問診の結果により実施)	○地区会館等(住民集団健診時に併せて実施、予約不要) ○ // (町内会回覧板等でご案内の日程、予約不要) ○各区保健センター等(集団検診時、予約不要) ○北海道結核予防会札幌複十字総合健診センター※2 ○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1	① 無料 ①+② 400円

その他の検査

胃がんリスク判定	満40歳の方(生涯に1回)	問診 血液検査 ・血清ペプシノゲン検査 ・ヘリコバクターピロリ抗体検査	○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	900円 1,000円
前立腺がん検査	満50歳～満69歳で原則※偶数歳の男性(2年に1回) ※直前の偶数歳時に札幌市前立腺がん検査を受診していない奇数歳の男性は受診可能です。	問診 血液検査(PSA検査)	○北海道対がん協会札幌がん検診センター※1 ○実施医療機関※3	500円

●実施医療機関の予約連絡先

※1 住所:東区北26条東14丁目 TEL 011-600-0873 ※3 実施医療機関掲載ホームページ
 ※2 住所:北区北8条西3丁目札幌エルプラザ5F TEL 011-700-1331 二次元コード

■検診に持参するもの 氏名、年齢、住所を確認できるもの(マイナンバーカード、資格確認書等)

※胃がん検診(内視鏡検査)受診の場合は、マイナンバーカード、資格確認書のいずれかが必須

■札幌市がん検診の対象者のうち、費用が免除される方【確認書類】

- 市・道民税非課税世帯の方【市・道民税課税証明書(18歳以上の世帯員全員分)、または65歳以上で保険料段階が第1、2、3段階の介護保険料納入通知書等】
- 生活保護世帯の方【生活保護受給証明書、生活保護世帯健康診査受診券】
- 満65～69歳の方で、後期高齢者医療被保険者の方【マイナンバーカード、資格確認書、後期高齢者健診受診券のいずれか】
- 満70歳以上の方【70歳以上であることが証明できるもの…マイナンバーカード、資格確認書等】
- 中国残留邦人等支援給付世帯の方【本人確認証】

※症状がある方や妊娠中・授乳中の方、または今までにかかった病気によっては、札幌市がん検診を受けられないこともありますので、主治医にご相談ください。

一般的なお問い合わせ:札幌市コールセンター(年中無休 8時～21時) TEL 011-222-4894

担当:札幌市保健福祉局ウェルネス推進部ウェルネス推進課 TEL 011-211-3514、各区保健センター

詳しくはホームページをご覧ください 札幌市がん検診 検索 <https://www.city.sapporo.jp/kenko/wellness/sapporosigankensin.html>



SAPPORO



さっぽろ市
02-F08-26-226
R8-2-188



がんは、早期発見すれば 80～90%^{※1}が治ります。^{※2}

※1 肺がんは80%以上、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんは90%以上。

※2 ここでいう「治ります」とは、診断時からの5年純生存率(ネット・サバイバル)です。純生存率は、「対象となるがんのみが死因となる場合」を推計した生存率です。

院内がん登録生存率集計報告書においても2014-2015年5年生存率から、相対生存率に代わりこの方法による純生存率が採用されています。

出典:国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録生存率集計」(2015年診断例)5年ネット・サバイバル

ぜひ、この機会にがん検診を受けてください。

国が推奨するがん検診の種類

種類	検査項目 ^{※1}	対象年齢	受診間隔
胃がん検診 ^{※2}	胃エックス線検査または胃内視鏡検査	50歳以上	2年に1回
大腸がん検診	便潜血検査(検便)	40歳以上	1年に1回
肺がん検診	胸部エックス線検査および喀痰細胞診 ^{※3}	40歳以上	1年に1回
乳がん検診	マンモグラフィ	40歳以上	2年に1回
子宮頸がん検診 ^{※4}	視診、子宮頸部の細胞診および内診	20歳以上	2年に1回

※1 検診項目は問診を含みます。肺・乳がん検診の問診では必ずしも医師が対面で聴取する必要はなく、自記式の質問用紙に記入することで問診の代わりとしてよいことになっています。

※2 検査項目については、受診者がいずれか一方を選択します。

※3 喀痰細胞診の対象は、50歳以上で、喫煙指数(1日本数×年数)が600以上の方です。

※4 HPV検査単独法については、実施自治体が少ないため、記載を省略しています。

出典:厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」、厚生労働省「職域におけるがん検診に関するマニュアル」



札幌市

このリーフレットは、がん検診受診率向上<希望の虹プロジェクト>が作成しました。

近年、日本人男性の **62.1%** 日本人女性の **48.9%** が、がんになると言われています*1。



男性の方へ



がんは近年、**40代男性の死亡原因の1位** または**2位**となっています。

がんは高齢者だけの病気ではありません。40代はがんが増え始めるため、検診によって早期発見することが大切です。

40代男性の死亡者数ワースト5 (2023年)*2

1位	自殺	2,594人
2位	がん	2,397人
3位	心疾患	1,814人
4位	脳血管疾患	1,131人
5位	肝疾患	870人

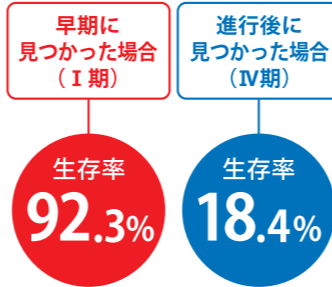
- あなたに必ず受診して欲しい、3つのがん検診 (なりやすいがん順)*1
- 1 大腸がん
 - 2 胃がん
 - 3 肺がん



50代はそろそろ“がん年齢”。でも、定期的な検診受診で、**自覚症状**が出る前にがんは**早期に発見**できます。

大腸がん・胃がん・肺がんは、早期発見によって80%以上が治ります*3。

発見時期による5年生存率 (大腸がん(男女)の場合)*3



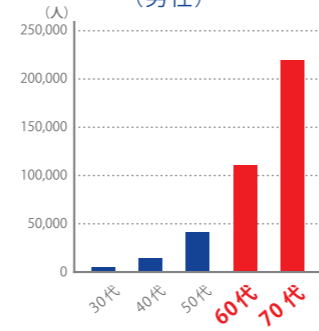
- あなたに必ず受診して欲しい、3つのがん検診 (なりやすいがん順)*1
- 1 大腸がん
 - 2 肺がん
 - 3 胃がん



60歳を過ぎると、がんになる人は**激増**。毎年、**約11万人の60代男性が**、がんになっています*1。

早期のうちは自覚症状がないため、検診を受けないと見つけれません。だからこそ、検診による早期発見が大切。

年代別がんになる人の数 (男性)*1



- あなたに必ず受診して欲しい、3つのがん検診 (なりやすいがん順)*1
- 1 肺がん
 - 2 大腸がん
 - 3 胃がん

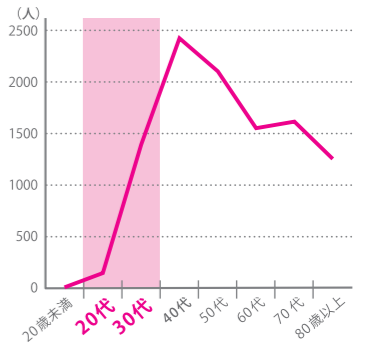
女性の方へ



20歳を過ぎたら**2年に一度**、必ず**子宮頸がん検診**を受診して下さい。

「まだがん検診は関係ない」そう思っていませんか？
子宮頸がんは、20代後半以降から増えるがんです。ただ、早期のうちに治療すれば、90%以上が治ります*3。
でも、早期の段階では自覚症状がないため、検診を受けないと見つけれません。
子宮頸がん検診は、あなたの**命と子宮**を守るための検診です。

年代別子宮頸がんになる人の数*1



40代女性の約**2人に1人**が、**乳がん検診**を受診しています。でも、乳がんの他にも気をつけなければいけない**がん**があるのをご存じですか？

子宮頸がん・大腸がん・胃がん・肺がんといった、乳がん以外のがんにも、毎年約7千人の40代の女性がなっています*1。



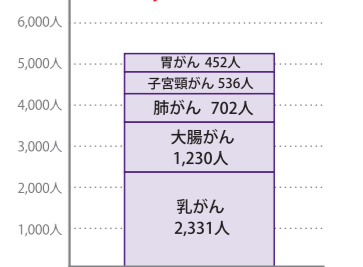
- あなたに必ず受診して欲しい、5つのがん検診 (なりやすいがん順)*1
- 1 乳がん
 - 2 大腸がん
 - 3 子宮頸がん
 - 4 胃がん
 - 5 肺がん



50代は、女性の身体が大きく変わる年代。**がんで死亡する人の数も大きく増加**します。

乳がん・大腸がん・胃がん・肺がん・子宮頸がんといったがんは、早期発見で80%以上が治ります*3。しかし、早期のうちは自覚症状がないため、検診を受けないと見つけれません。

左記の5つのがんによる50代女性の死亡者数*2



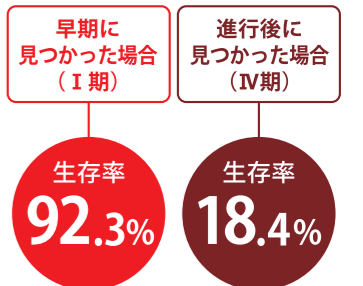
- あなたに必ず受診して欲しい、5つのがん検診 (なりやすいがん順)*1
- 1 乳がん
 - 2 大腸がん
 - 3 肺がん
 - 4 子宮頸がん
 - 5 胃がん



がんになったら治らない、そう思っていませんか？
がん検診をすべての対象者が正しく受けると、毎年日本全国で**約6万7千人の命**が救われます*4。
(ここでいうがん検診とは、推奨されている以下の5つの検診を指します)

女性がなりやすい5つのがんは、検診による早期発見で80%以上が治ります*3。

発見時期による5年生存率 (大腸がん(男女)の場合)*3



- あなたに必ず受診して欲しい、5つのがん検診 (なりやすいがん順)*1
- 1 大腸がん
 - 2 乳がん
 - 3 肺がん
 - 4 胃がん
 - 5 子宮頸がん

*1 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」全国がん登録 (2021年診断例)

*2 人口動態統計 (2023年)

*3 ここでいう「生存率」「治ります」とは、診断時からの5年純生存率 (ネット・サバイバル) です。純生存率は、「対象となるがんのみが死因となる場合」を推計した生存率です。院内がん登録生存率集計報告書においても2014-2015年5年生存率から、相対生存率に代わりこの方法による純生存率が採用されています。

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録生存率集計」(2015年診断例)5年ネット・サバイバル

*4 がん検診受診率向上<希望の虹プロジェクト>による推計値